



ウクライナの子どもたちの 絵画巡回展

IN ながさき

戦火を逃れ今も避難生活を送る子どもたちが
描いたメッセージたち
被爆78年の夏を迎えるながさきで、
ともに感じ、考えてみませんか？

7/10(月)～7/14(金)
九州文化学園
小学校・中学校
(学園関係者、招待者限定)
協力：九州文化学園
小学校・中学校

7/21(金)～8/10(木)
長崎県庁1階
イベントエリア
県庁開庁時間内
(長崎市尾上町3-1)
後援：長崎県

8/14(月)～8/18(金)
十八親和銀行
本店営業部
9時-15時
(長崎市銅座町1-11)
協力：十八親和銀行

主催：ながさきWell-beingミライ研究所
絵画提供：ワルシャワ日本語学校 坂本龍太郎
額縁協力：=VOTE



わたしたちが、
「
た
ま
ら
し
ま
い
ま
す
か
？」

ながさきWell-beingミライ研究所

2022年発足。長崎県内において、「多文化」「共生」「地域日本語教育」をキーワードに、誰もがよりよくともに生きる社会をめざして、個の活動から地域の活動、より広く社会をともにつくることを考える任意団体。

「文化庁 令和3年度日本語教育人材の研修プログラム普及事業」で、長崎県と協働して行った地域日本語・多文化共生を考える講座の関係者および受講生が中心となって発足。お互いに学び合い、支え合うピア・コミュニティ、「学びあう共同体」として設立した。

同講座の講師・運営を務めた佐野香織（長崎国際大学）、和田一菜（合同会社pordo）が世話人を務める。

●巡回展について

2022年5月、当会主催のハイブリッドトークイベント「お隣にウクライナからの避難の方が引っ越して来たら」を開催。現地の声や、支援者の声、避難民支援についての声を聴いた。

2022年のトークイベント登壇者、坂本龍太郎氏の声かけで現在、日本全国をウクライナのこどもの絵画が巡回中。

Facebookはこちら
Instagramも準備中！

